

「オフショアビジネスシンポジウム2012関西」



一般社団法人 日本オフショアビジネス協会

「日本のオフショアビジネス（国際協業）の現状と将来」 ～関西から発信するオフショアビジネス～

日 時：2012年5月11日(金) 13:00～17:00 (12:30開場)

場 所：マイドームおおさか 8階第3会議室

地下鉄堺筋本町・谷町四丁目から徒歩7分 (<http://www.mydome.jp/access/>)

主 催：一般社団法人 日本オフショアビジネス協会

後 援：経済産業省近畿経済産業局、大阪商工会議所、日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部、グラビティ株式会社
日本プロジェクトマネジメント協会、ITコーディネータ協会、亞洲ビジネス企画株式会社

参加費：当協会会員 無料 一般 5,000円 学生 2,000円 (消費税込)

定 員：90名（お申込み先着順）

懇親会：1階レストランマイドームにて 17:30～19:00 参加費3,000円

※当日までに入会の申し込みをされた方は会員価格になります（入会については当協会 HP からお申込みください）。

※また、法人会員につきましては、参加者2名様まで会員価格になります。

※日本プロジェクトマネジメント協会のCPU申請対象講座です。PMS資格維持のために3.5CPUが申請できます。

※ITコーディネータの知識ポイント4時間分を付与します。

開催にあたって

主催者代表

日本オフショアビジネス協会 代表理事 権正 治好

2011年、東日本大地震やギリシャの財政危機からはじまったヨーロッパの経済不安があり、円高が加速されています。日本では製造業がアジアを中心とした海外に進出しています。また、IT開発のアジアへのオフショアリングも当たり前のようにになっています。

一般社団法人日本オフショアビジネス協会は、オフショアリングを実行する上で様々な問題・課題を抱えている担当者や企業や学術研究研究者が集まり、産学連携して解決する場を作るために立ち上げました。

今回、オフショアビジネスのイベントを関西にて初めて開催いたします。本シンポジウムでは、産学さまざまな事例を紹介いただきます。それをきっかけにオフショアビジネスの問題・課題を解決するヒントを提供できればと考えています。関西でも継続的に産学連携で課題解決できる場を提供できることを願います。



2011年大連フォーラム



2009年東京フォーラム

プログラム

ごあいさつ 13:00-13:10	日本オフショアビジネス協会の活動について	日本オフショアビジネス協会 代表理事 権正 治好
基調講演 13:10-14:00	オフショア・ソフトウェア開発の軌跡と進化 高度情報化社会は、ソフトウェア開発・保守の持続ある体制を要求している。本講演では、委託側のリスクに関する経験知の表出化と組織のプロセスに関する成熟度を中心に、今後のオフショア開発を展望する。	大阪府立大学 現代システム科学域長 教授 辻 洋
(10分間)	休憩	
講演1 14:10-14:40	オフショアプロジェクトにおけるUMLの適用の有効性 オフショア開発におけるUML適用の有効性の説明と、それに基づきいかにUMLを適用するのが効果的かについてガイドラインを作成した。そのガイドラインの説明とオフショア開発にUMLを適用した事例を紹介する。 NPO法人UMLモデリング推進協議会 オフショアソフトウエア開発部会副主査 株式会社オージス総研株式会社 ビジネスイノベーションセンター エグゼクティブコンサルタント 竹政 昭利	
講演2 14:40-15:10	NEUSOFTオフショア開発事例 委託側に於けるオフショアの考え方、体制の垂直立ち上げ実績のご紹介、また受託側視点からプロジェクト推進上の着眼点、課題、委託側との関係のあり方等を解説する。	NEUSOFT Japan 株式会社 シニアスペシャリスト 細川 芳輝
講演3 15:10-15:40	アジア諸国との連携とベトナムへの取り組み I. 組込みシステム産業振興機構のアジア諸国との連携 II. ベトナムのソフトウェア産業の概況	株式会社 システムセンター・ナノ 代表取締役 吉田 勝彦
(10分間)	休憩	
講演4 15:50-16:20	オフショアにおける気づかれにくい日本企業の強み 市場、技術力、品質。日本企業が必ず口にする日本企業の強みだが、果たしてこれが本当の強みなのだろうか。外国人工エジニア派遣、海外日系工場などの実態からは、それとは別の本当の強みが見えてくる。	清風情報工科学院 校長 平岡 憲人
講演5 16:20-16:55	「国内オフショア開発」と沖縄の取り組み 国内遠隔地に開発案件を持ち帰り開発する「国内オフショア開発」が注目されている。そこで地方経済における国内オフショアの意義を確認し、オフショア開発との競合など環境変化の下、その将来性について検討する。	同志社女子大学 現代社会学部社会システム学科 教授 加藤 敦
閉会の挨拶 16:55-17:00		

— 参加申込とお問い合わせはこちらへ

参加申込ページ： http://www.1offshoring.com/kansai_seminar2012/

お問合せ： 日本オフショアビジネス協会関西支部 kansai@1offshoring.com

— 日本オフショアビジネス協会

住所； 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-5 I'sビル6F

電話： 045-471-8410

ホームページ： <http://www.1offshoring.com/>

フェイスブック： <http://www.facebook.com/obsjapan>

